

希望ヶ丘区



↑ 大抽選会でみんな大盛り上がり!

三世代交流 希望ヶ丘夏祭りが 開催されました!

令和6年8月24日(土)に、第2回三世代交流希望ヶ丘夏祭りを実施しました。2回目となる今回は、役員会、子供会、サロンによる出し物があり、昨年よりイベントも増え、年々非常に活気のある夏祭りへバージョンアップされているように感じました。祭り当日は、キッチンカーの協力を得て、夏祭りの出店感を演出したり、地元の人気カフェ等の協力も借りるなどして、子供から年配者、そして主催側の役員たちも楽しめる三世代交流事業となっております。そして、今回の祭りの締めには大抽選会を開催し、最後まで区民同士の笑い声が絶えない、ひと夏の思い出となりました。(希望ヶ丘区長 松村 良輔)



美野里ライオンズクラブ

あなたもまちづくり活動、始めてみませんか?

まちづくりの認定を受けませんか?

認 まちづくり組織の認定

地域を舞台に、地域活性化や課題解決を目的として市民主体で活動する組織が「まちづくり組織」の認定を受けることで市からの支援を受けることができます。
※認定の可否は、有識者等で構成されるまちづくり審査会(毎年、4月・10月頃に開催)で決定されます。

お問い合わせ

小美玉市役所 市民協働課 ☎0299-48-1111(内線1133)
※各団体の入会方法についてもお気軽にお問い合わせください。

まちづくり活動を支援しています!

補助金

「新たな取組を始めたい」「もっと充実させたい」などの要件を満たすと、活動資金の助成申請ができます。

人材育成

連絡会主催の研修やふるさと塾などのまちづくり人材を育成する研修会に参加することができます。

広報支援

市が発行する広報紙や公式ホームページを使ってまちづくり活動の情報を広く周知することができます。

備品貸出

イベント開催に必要な机、イスなどの備品を借りることができます。※備品一覧は市ホームページに掲載

今月の表紙

中央高校にて薬物乱用防止教室を実施しました!

美野里ライオンズクラブは社会奉仕を目的に1974年(昭和49年)結成され、今年で50周年を迎えました。私たちのクラブでは「We Serve」の精神を礎に地域社会への貢献活動を行っております。活動の内一つに薬物乱用防止教室を、毎年中央高校や市内中学校などで行っております。今年は6月19日(水)に中央高校の全生徒を対象に、薬剤師「大塚和美」先生を講師にお

招きして大変参考になるお話をさせていただきました。この防止教室を通し、薬物に手を出す人がいなくなりますよう、私たちは今後もこの活動を続けていきたいと思っております。(美野里ライオンズクラブ 会長 戸田 見良)

美野里ライオンズクラブでは、次のような事業を毎年行っております。
・茨城県立盲学校との交流事業(高齢者無料マッサージ・自然体験栽培学習)
・献血事業 ・薬物乱用防止教室(中央高校他)
・青少年健全育成支援事業(野球・サッカー、ミニバスケットボール等)

まちづくり認定組織数 令和6年10月現在

学区コミュニティ…12団体 テーマ型まちづくり…19団体 まちづくり委員会…37団体

まちづくり組織
情報はこちら➡





羽鳥東区

令和元年度羽鳥東区敬老会の様子(左) クリーン作戦の様子(右)



まちづくり組織紹介 -羽鳥東区-

羽鳥東区は小美玉市の西端にあるJR羽鳥駅東口に建ち並ぶ戸数約280戸の団地です。徐々に戸数が増えてきたため、2011年4月以降「羽鳥東区」として独立しました。独自の行事が少なく、ころふれあう羽鳥の会(羽鳥小学校区コミュニティ)や羽鳥まつりに参加させてもらっています。敬老会での食事会、サロン(社協)での活動などがコロナ感染症拡大以降中止になっており、また、夏の気温上昇により、夏場の活動が制限されてきていますが、今できることを皆で助け合いながら運営しています。

(羽鳥東区 区長 佐々木 信一)

ネットがもたらした活動の広がり

湖北理科を語る会は、市内に勤務する理科に関心を持つ教員の会からスタートしました。その後、市外からの会員も多くなり、小美玉市民の日に子供達に理科工作を楽しんでもらうなどの活動をしていました。しかし、コロナ禍以後はメンバーは直接集まらず、Facebookを活用して交流をしています。「湖北」とは霞ヶ浦の北ということですが、今ではネットにより日本中からメンバーが集まるようになりました。今後は、小美玉市の子供達へ、理科工作の提供を解禁していこうと考えています。(湖北理科を語る会 会長 宮内 主斗)

湖北理科を語る会



湖北理科を語る会の会議の様子



小美玉市小川郷土文化研究会

冬の野田鷺沼半溜池の風景

地元の歴史、無数の魅力を秘めて

野田鷺沼半溜池のすぐ近くを梶無川の最上流部が流れ、周囲には水田や畑が遠くまで広がっている。どこにでもある農村風景と思うかもしれない。しかし、つぶさに調べてみれば、全ての地区がその景観の中に独自の歴史を秘めている。この半溜池も沈黙の証言者である。調べて初めてそれとわかる。郷土の歴史とは、市町村史の編纂で終わってしまったわけではない、地元の者が取り組まない限り失われてゆくだけの歴史がまた無数にある。私たちは歴史学の素人ではあるが、現地に行き人に会い、地道に史料を捜している。会員の減少により活動の継続は非常に厳しい。皆さまの参加を期待しております。

(小美玉市小川郷土文化研究会 会長 宮内 保明)



竹原地区コミュニティ

指定文化財に指定されている「時の鐘」(左) 川越・小江戸の街並みの様子(右)



ふるさとウォッチング&ウォーキングを実施しました。

令和6年3月17日(日)に研修「ふるさとウォッチング&ウォーキング」を実施しました。目的地は埼玉県川越の蔵の街です。蔵の街での散策では、時の鐘をはじめ、街並みを視察し、現地での空気感を体感してきました。行き帰りのバスの中や、蔵の街の散策中では参加者同士の各区内の話題で花が咲き、コミュニケーションもとることが出来、とても有意義な一日となりました。帰りにはコミュニティで用意した参加商品を参加者へお渡しし、ご機嫌の様子でした。無事に帰路につき、皆さんとの再会を約束し散会しました。(竹原地区コミュニティ 会長 稲田 弘)

逆境に負けない！ 伝統を守り続けています

平成18年の結成以来、地域の祭礼など多くの出演の機会をいただき、皆さまに祭囃子を楽しんでいただくことができました。まもなく結成20年を迎えますが、その中には紆余曲折もあり、コロナ禍においては、感染拡大防止の観点から出演の機会も失われ、練習もできない状況となりました。しかし、令和5年8月に活動を再開し、新入会員も迎えることができました。現在は月2回の定例稽古を小川公民館で実施しているほか、小川中央商店街の空きテナントを活用してオープンした交流拠点「お祭り広場わっしょい」でも随時稽古を行っています。(粹州囃子連 会長 藤井孝一)

粹州囃子連



小川地区・赤身地蔵尊でのお囃子の披